

輝く福山城・明王院本堂

地域の宝イルミネーション

福山城や明王院をかたどったイルミネーションの完成を喜ぶ川上会長㊤たち



動画は中国新聞
デジタルで



行委員会が企画。「地域の宝を愛する気持ちを育てたい」としている。

福山城と、明王院本堂・五重塔の写真パネル（高

さ60〜150センチ）を、トナカイや市のキャラクター「ローラ」と共に色とりどりの電球で彩った。約900本のロードの街路樹などを飾り、1月7日まで毎日午後5〜10時に点灯する。

27日に点灯式があり、住民たち約30人が参加。市民団体「明王院を愛する会」の三谷千城会長(76)が、福山藩初代藩主の水野勝成が築城の場所を探る中で出会った値を明王院の住職に登用した歴史などを解説した。実行委の川上澄雄会長(75)は「節目を祝い、明るい気持ちになってほしい」と話した。(原未緒)



福山市の福山城(丸之内)と国宝明王院本堂(草戸町)をかたどったイルミネーションが、同市沖野上町のシンボルロードで始まった。来年の築城400年と今年の本堂建立700年を祝い、地元町内会でつくる実